

山行報告

[しんつくし山岳会]

| | | | |
|-----------|---|----|----|
| 日時 | 令和4年2月23日(水曜日・祝日) | 天候 | 曇り |
| 山域 | 肥前・筑前街道……亀の尾峠越え石畳と山城を訪ねて | | |
| 文化庁 選定 | 平成8年[歴史の道百選]:【肥前・筑前街道——脊振坂越】 | 記録 | 森 |
| 参加者 | L:森 江、江、長、会員外……柳、菱 計 6名 | | |
| 交通手段 | 車——江、長、菱、バイク | | |
| 行程 | <p>中の島公園(10:00)……猿川……堀切林道分岐点……石畳……石橋;3カ所……</p> <p>……亀の尾峠(390m)11:30……亀の尾山城址((421m)……笹城址(420m)……</p> <p>……虎が岳(422m)昼食(12:10~12:50)……南畑ダム(13:20)……引き返し……</p> <p>……亀の尾峠……石畳……石橋……堀切林道分岐点……中の島公園(14:45)</p> | | |
| 概要 | <p>長承2(1133)年神埼荘の管理を任された平忠盛は、この地で日宋貿易に手を広げ舶来品を院に進呈して近臣として認められるようになった。その子、平清盛は博多に人工の港・袖の港を造りそして神埼から博多の港まで一部に石畳の肥前・筑前街道を開通させた。</p> <p>那珂川の上流に位置する市ノ瀬の中島公園から山路に入り亀の尾峠を越えて五ヶ山に至る道は今でも石畳が残り、往時の「肥前・筑前街道」を思い出させる峠道です。明治の中頃までは五ヶ山から博多への往来はもちろん佐賀県の神埼方面からも重要な街道でした。</p> <p>亀の尾城は九州探題・渋川氏と切り離しては考えられない。足利氏が将軍となった室町幕府の中で足利氏一族として重用され九州探題となり下向した。渋川氏は大内氏、大友氏などの援助を受け朝鮮通交、肥前国経営に努力した。亀の尾城は長享2(1488)年万寿丸が生害され亀の尾は攻め落とされる。その後周防の大内氏が更に鳥栖・勝尾城の筑紫氏が入り、戦国末期、島津氏の北部九州侵攻の際、岩屋城の高橋紹運と共に豊臣方に味方したため、島津氏によって攻められ。廃城となりました。</p> <p>峻嶮な脊振坂越の山道の利用を容易にしたのは何であったろうか。平家一門の勢力があった。</p> <p>①平家最高の家人であり、大宰権少貳、岩戸少郷とよばれていた原田種直が那珂川町安徳の安徳台に居を構えていた。また大蔵一門が那珂川流域に住んでいた。</p> <p>②当時の脊振山中には脊振山東門寺の天台宗、山岳宗教が栄えていて、多くの僧侶や修験者たちが平氏に協力的であった。</p> <p>③那珂川流域の多くの社寺(住吉神社・現人神社・伏見神社・霊仙寺)が平氏に協力的であった。</p> <p>④那珂川の水運の利用。 ⑤那珂川町の山田・伏見神社の一の井出の所から年貢米の積込みができた。 ⑥地域住民の協力があつた。</p> | | |

